

2006 年度

科目名 総合演習Ⅱ	対象学科・学年 教育教職2回生	担当者 開沼 太郎
授業テーマ 現代的教育課題や学校教育制度に関する理解を深め、教育実践の基礎を養う。		
授業の概要と目標 学校教育をめぐるさまざまな事象を対象として、教育現場が抱える現代的課題や教育制度の変遷、教育改革の潮流などについて、文献や資料の調査、報告（プレゼンテーション）、検討、意見交換などを通じて理解を深める。また、学校と接点をもつさまざまな教育分野との関係にも注目しながら、教育実践のあるべき姿を検討する。		
評価方法 評価は、授業参加の状況（出席状況、発言・報告内容、課題提出など）などをもとに、平常点で実施する予定である。試験は実施しない。		
テキスト 講義時に指示する。 必要に応じて配付資料やオンライン資料などを利用する。	著者	出版社
参考書 講義時に随時指示する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 内容は、主に「学校」に関するテーマを中心に、初回のオリエンテーションにて受講者各自の関心を参考に決定する。授業は個人もしくはグループによる報告に基づいて進める。 特に教育者に求められる「情報活用能力」の育成を中心課題とし、教育をめぐるさまざまな事象を主な対象としながら、文献や資料の調査、分析、検討、報告、意見交換などを進める予定である。 情報の収集力（調査・検索など）、処理力（要約・解題・分析など）、発信力（プレゼンテーション・コミュニケーションなど）を総合的に身につけることを目的とする。資料は学校教育や社会教育に関する文献などを中心に、参加者の関心に応じて随時配布する。 前半期（1～8）は「学校」を対象としたさまざまな文献や資料の収集や解題、意見交換などを中心とする予定である。 後半期（9～15）は各自（各グループ）で興味関心に従って独自に設定したテーマに基づいた調査報告や、討論などを中心とする予定である。 演習形式の授業を通じて、学校教育への理解を深めると同時に、研究報告の手法を学ぶことができるよう、適宜必要な過程や技法などについても学習を進める予定である。 ※ 授業では、コンピュータや携帯電話（情報端末）など、情報通信機器を積極的に活用する予定である。受講者には専門的な技術や知識は必要ないが、主体的かつ積極的な活用姿勢を望みたい。		